第18回動物血液型生化学多型国際会議の概要

印牧 美佐生

家畜改良事業団, 前橋市 371-01

The Outline of XVIIIth International Conference on
Animal Blood Groups and Biochemical Polymorphisms
in Ottawa, 1982

Misao Kanemaki

Livestock Improvement Association of Japan Inc.,
Kanamaru, Maebashi, Gunma, 371-01

第18回 ISABR 国際会議は, 1972年7月にカナダの首都オタワで開催された。日本からは本研究会の鈴木会長, 天野助教授 (東京農大), 池本教授 (自治医大), 横浜氏 (競理研) および著者の5名が参加した。このうち天野, 池本, 印牧の3名に対し本研究会から暖かいご援助をいただいた。ここに会長はじめ会員各位に心からの御礼を申し上げるとともに, 会議の概要を報告いたします。

記

1. 期 間 1983年7月18日～24日
2. 場 所 カナダ・オタワ大学構内
3. 主 催 カナダ大会委員会 (委員長, カナダ国立家畜衛生試験場 Dr. G. J. Kraay)
4. 日 程 7月18日 登録 レセプション
 - 19日 全体集会 A. 遺伝子操作と染色体地図
 - 分 科 会 1. リンパ球抗原
 2. 馬の遺伝的 マーカーと集団的研究
 3. 牛の比較試験
 - 20日 全体集会 B. 遺伝学と抗体産生反応
 - 分 科 会 4. 牛, 馬, 豚の血液型と生産・病気の関係
 5. 牛リンパ球抗原についての研究集会
 6. ヒツジ, ヤギ 遺伝的 マーカーと研究集会
 - 21日 全体集会 C. 単一クローン抗体
 - 分 科 会 7. MHC と病気の関連
 8. ネコ, イヌ, ウサギ 遺伝的 マーカー

9. 馬の比較試験

- 22日 研究集会 抗体産生の遺伝学と病気抵抗性
分科会 10. 馬のリンパ球抗原についての研究集会
11. 牛の遺伝的マーカー
23日 分科会 12. 牛の集団的研究
13. 家禽の遺伝的マーカーと研究集会
14. 豚の遺伝的マーカー

総 会

またこの期間中に、20日には国立家畜衛生試験場の見学、そして最終日の24日にはモンリオール方面へのバスツアーが行なわれた。

5. 研究報告の内容（分野別報告数）

この会議に報告された論文の内訳は次表の通りである（但し発表中止が数題あった）。

	全般	牛	馬	豚	家禽	ヒツジ	その他	合 計
遺伝子操作・リンケージ	1		2	1	1			5
リンパ球抗原 MHC		11	3	2	9		2	27
抗体産生反応	7	2		2	2			13
生産・病気		6	2	3				11
単一クローン抗体	2	2	3					7
遺伝的マーカー 集団的研究		20	13	5	6	8	7	59
計	10	41	23	13	18	8	9	122

著者は牛関係の発表を中心に聞いた。従来からの血液型、蛋白多型のマーカーや集団遺伝学的研究が多いが、最近の傾向としては、リンパ球抗原（MHC）関係の報告、血液型・生化学的多型と抗体産生や病気抵抗性との関係に関する報告が目立った。この研究会の今後の方向を示していると思われる。また、ハイブリドーマを用いたモノクローナル抗体に関する研究が数題あった。複雑な同種抗原の遺伝的分析を行なうための有力な手法であるモノクローナル抗体の研究の一層の発展が望まれるが、現段階ではまだ端緒であり具体的成果とまではいっていないようである。発表内容と発表者をみると、非常に変化に富み、最新のバイオテクノロジーを駆使したものから、かなり初歩的なものまでが含まれ、また若い研究者から、この道の大家までが一堂に会し互に熱心に討論する様子には、強い印象を受けた。

本会会員の発表論文の演題は以下のとおりである（発表番号順）。

M.Yokohama, K.Mogi and T.Hosoda

On the relationship between the value of serum iron and transferrin protein contents in breed horses.

S.Ikemoto, H.Yoshida and S.Suzuki

Further investigation of the animal blood grouping by lectin:
sheep blood grouping by extract of *Tulipa gesneriana*.

M.Kanemaki

Genetic constitution of blood groups and biochemical polymorphisms in Japanese cattle breeds.

T.Amano

Blood groups and biochemical polymorphisms of water buffaloes in East Asia.

6. 総会関係

(1) 比較試験等の予定

- 抗体産生反応と病気抵抗性についての研究集会 次回の国際会議の際開催。
- 豚の比較試験 ベルギー主宰 1983年11月開催予定。
- 牛の比較試験 英国・エジンバラ主宰 1983年11月実施。
- 牛のリンパ球抗原の比較試験 フランス主宰で開催予定。
- 馬の比較試験 オーストラリア主催。

(2) 役員選挙

I S A B Rの執行委員会の選挙が行なわれ、会長に Dr. B. A. Rasmussen が選出された。

(3) 次回の国際会議

I S A B Rの第19回国際会議は1984年7月に、西ドイツのゲッチンゲンで開催することが決定された。また第20回については、イタリアが立候補した。